

第3回 越谷市新庁舎建設基本設計に係る市民ワークショップ

1. 第2回の結果報告

(1) 開催概要

開催日時	平成29年8月26日(土) 午後1:30~3:40
会場	越谷市役所本庁舎5階第1委員会室
参加者数	24名
主な内容	(1) 第1回目の結果報告及び第2回ワークショップの進め方 (2) (仮称)市民協働ゾーンに対して大切にしたいと思う項目の抽出 (3) (仮称)市民協働ゾーンの機能の検討 (4) コーディネーター講評

(2) 当日の様様



● コーディネーターによる前回概要



● ファシリテーターによる前回まとめ報告



● 投票結果の発表



● 市民協働ゾーンの機能検討



● Aグループの発表



● Bグループの発表

(3) 開催概要

①追加意見等について

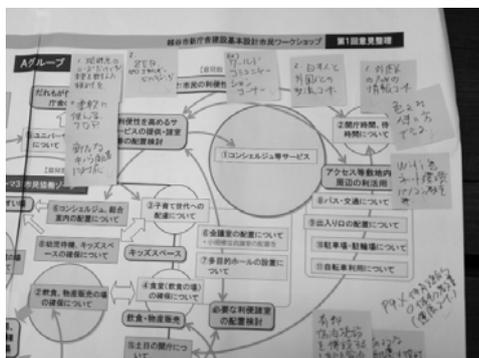
第1回ワークショップのグループ別提案整理に対し、追加意見あるいは必要な訂正箇所等を以下の通りいただきました。

Aグループ

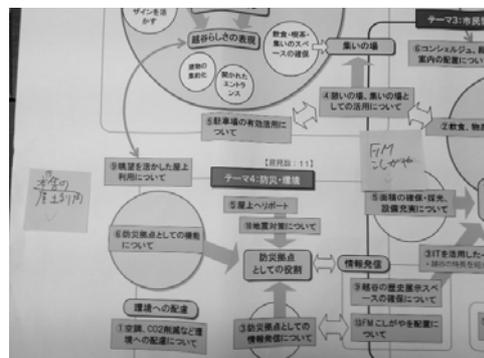
- 現時点のニーズだけでなく、未来を見据えた検討を
 - ・フロアを柔軟に使えるという考え方
 - ・新たな機能配置にも対応可能
- 環境に配慮したZEB（ゼロエネルギービルディング）化を目指す
- 日本人と外国人との交流コーナー、外国人のための情報コーナーを設ける
 - ・ワールドコミュニケーションコーナー
 - ・スペースとして色々な使い方が可能
- Wi-Fi等ネット環境の確保
 - ・パソコン教室等も開催しやすくなる
- 優良宿泊施設を併設する。庁舎上部を宿泊棟とする。
- 喫煙室は必要ない。必要ならば外部に。室内には煙が入らないようにする。
- 体育館的な運動スペースと提案したが、大きな規模のスペースをイメージしてしまうので、体操教室（健康コーナー）程度の規模のイメージに訂正したい。

Bグループ

- 市民協働ゾーンにみでなく、本庁舎の屋上も有効に利用したい
- FMこしがやを配置できれば



● Aグループの追加意見聴取



● Bグループの追加意見聴取

②テーマ別個別意見の整理

第1回及び第2回ワークショップでいただいたテーマ別の個別意見を以下のように整理しました。

Aグループ

テーマ1：建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ	意見のポイント
水郷越谷を活かす。	建築デザインの検討にあたっては、水（川、水郷）・緑・太陽のイメージを大切に、伝統・文化、和のデザインを取り入れながら、シンプルなデザイン、圧迫感の軽減などに配慮する。 また、有効に床面積を使いたい。
緑と水郷のまちならではに、各庁舎に緑を取り入れてほしい。	
庁舎西側に、西陽対応として緑をとりいれよう。	
本庁舎の建設は、最新のデザインの中にも、伝統や文化的デザインを取り入れたい。	
シンプルなデザインに。	
市庁舎の外観は、圧迫感のないデザインとしてほしい。周辺住宅等に太陽の反射光を押さえることが必要。	案内表示などは、多言語表記にするなど国際化への対応やバリアフリー化を図り、だれもが使いやすいユニバーサルデザインの考え方を大切にする。
市民協働ゾーンは、吹き抜けにすると面積が減るので、吹き抜けにしないでください。	
国際化、観光のため、iインフォメーションセンターの設置を。	
案内表示板の国際化を。東京メトロと同じような、日本語、中国語、韓国語の表示板をつくる。	
フレンドリーな窓口デザインを。各課のカウンターの高さは、市民の利便性を考慮し、高すぎないように。	
障がい者に対して、バリアフリー化してほしい。	新庁舎の整備にあたっては、将来の人口や未来の使い方等を見据えながら、コストバランスやフロア利用に配慮する。
日本人と外国人との交流コーナー、外国人のための情報コーナーを設ける。（*2）	
デザインに費用はかけない。耐震・耐久に費用をかける。	
今後は人口減なので、経費はおさえる。	
庁舎は、将来の修繕・改修をしやすいものとしたい。	
市在住の子供達の将来の為に、費用コスト減は考えすぎ。良い建物設計であってほしい。（*3）	建築デザインとも関連し、葛西用水との近接性を活かした、一体感、開放感のある空間づくりや開口部の工夫を図る。
現時点のニーズだけでなく、未来を見据えた検討を。（*2）	
川と一体的なイメージのデザインを。川と庁舎の間に道路がはさんでおり、一体感を阻害している。道路を越え、川とつながるデッキのような、幅の広い構造物で一体化したい。	
川を感じられる開口部とする。川に面した側の1、2階部の窓などは、高い天井をもち、川側の窓は、前面窓とし、川との一体感を感じられるようにしたい。	
ウェルカムゲートについて、3階つつぬけの水辺風景で、開放感を持たせる。ガラスばかりで葛西用水が見えるようにする。	
建物をより高層にして、駐車スペースを多く造る。駐車スペースは、催し物の会場にするとき有効。	駐車場の配置を含め、外構のオープンスペースとしての有効な活用方策について検討する。
駐車場スペースを有効活用するため、駐車場を地下にしてはどうか。地上スペースは、市民憲章にある「水と緑と太陽に恵まれた豊かな〜」を生かした庭園を作る。芝生だけのシンプルなものも可。	
なにか、市内材を活かしたい。内装材を、市内にあるもので活かせるものがないか。久伊豆神社参道の木と同種のもの一部植えるなど。	内装や植栽にも越谷らしさを感じる工夫を図る。
建築デザインのわかりやすい事前進行を。「ワークショップの様子を市のHPにのせて、より多くの市民に関心をもってもらう。」と言われたことは素晴らしい。現本庁舎の中に、それらの意見をとりいれると、この様になるという、分かりやすいモデル模型を展示したい。	本市民ワークショップの結果等を情報発信するとともに、意見等を上手く取り入れながら新庁舎整備の検討を進める。

- (*) 第1回ワークショップ開催後に頂いた個別意見
 (**) 第2回ワークショップで頂いた追加意見
 (***) 第2回欠席者から頂いた個別意見
- } ※以下同様

テーマ2：市民の利便性	意見のポイント
コンシェルジュの充実を。	外国人を含め、だれもが使いやすい総合案内窓口、コンシェルジュの配置、プライバシーが守られた相談室の確保、子育て支援機能の配置など、市民が気軽に快適に安心して利用できる新庁舎とする。
内部各担当課に、総合窓口制度を取り入れて市民の利便性をアップする。	
窓口機能について、個人的な相談を受け付けられるような個室をとりいれたい。	
多くの会社勤めの方がリタイア先に困っている。ボランティア窓口がより分かりやすくなる工夫を。(市民課からの流れ)	
介護や、こどものために、駅前の市民活動支援センターに行っているが、今回新スペースを工夫して、保育園等、市民が来ざるを得ない統一センター機能を持った施設を。	
窓口接客スペースを。手続き、一般的相談、秘匿性のある相談など、レベルに応じた対応ができるようにしたい。ただの仕切りでは声が聞こえてしまう。	
全体について、外国の方に表示がすぐわかるような、全てにわたる多言語の提示を。	庁舎の開閉時間延長など、より市民が使いやすくなるための方策を検討する。
庁舎の開閉時間、特に閉舎時間を延長してほしい。例えば21時まで。	
市庁舎の開閉時間を柔軟にしてほしい。朝窓口7：00～、夜窓口10：00まで(9：00ぐらいでも可)。土日開庁。	保育スペースなど子育て支援機能を配置する。
子育て中のママ、パパに、保育士や保育室がほしい。	
子育てスペース、保育スペースを。	飲食できる場を確保する。
食堂、レストランがあったらいいなあ。	
子ども食堂に利用できる食堂を設置してほしい。	市民活動の場として有効に使える会議室を確保する。
小規模な30人前後が使える会議室を、設置してほしい。	
防音設備のある多目的ホールを設置してほしい。	防音設備のある多目的に使える空間を確保する。
出入口について、中央玄関もよいが、南、中央、北といった作りはどうか。	使いやすい駐車場やバス乗降場の確保、分かりやすい出入口の配置及び葛西用水との関係を踏まえた自転車道の確保など、新庁舎整備に関連する外構等のあり方を検討する。
駐車場としてのスペースの拡大、確保を。	
庁舎と葛西用水との間の道路を、自動車通行禁止のサイクルロード化する。	

テーマ3：市民協働ゾーン	意見のポイント
市民活動をする人、起業する人のために、パソコンで何でも検索できる部屋を間仕切りでほしい。起業する人のための貸しスペースにもなる。	市民協働ゾーンは、市民活動の場・発信の場としての多様に活用できるよう、必要な諸室や設備を吟味しながら配置する。
団体の活動を発信したい。	
市民活動が一目でわかるような場の設置を。	
市民の様々な活動について、創作活動や地域活動の発表の場として、活用したい。	
市民協働ゾーンは、市民が使える面積をできるだけ多く希望します。	
市民協働ゾーンには、1F フリースペース、2F オープンスペース、3F 防音スペーススタジオ（シアター、劇場）にしてほしい。	
中央市民会館とダブらない内容にする。会議室、展示室、ホールはいらぬ。（*3）	
Wi-Fi等ネット環境の確保。（*2）	
FMこしがやを入れてください。	
市民、市民活動団体のために、飲食設備、調理、販売が可能なスペースの設置。時間により子ども食堂や、サロンができるものを。	
出店について、地元商店やブース出店を。	
市民の運営する喫茶室の設置。	
市民の憩いの場を。図書室・囲碁・将棋スペース、イートイン併設の気軽に入れるコーヒーショップなど。100円コーヒーやスイーツがあるとよい。	
人が集まるので、図書館を協働スペースに移動する。	市民協働ゾーンには、ITを活用したインフォメーション機能の配置を図る。
ITを駆使した越谷インフォメーション画面を備えた1室を設けてほしい。例えば、警察や消防が用いるコントロールスクリーンのように、地図を見てそのボタンをクリックすると、その公共施設での予定行事が見られるなど。	
通路に展示するボードは、ITを駆使したスクリーンとする。行事ごとに変える必要が無い。	
市民が親しむ空間に。市民がより越谷を理解し愛する場として、越谷の歴史、生活の移り変わり展示等により親しむゾーンを造れないか。	市民協働ゾーンには、越谷に親しみ、理解し愛する場として、越谷の歴史・文化等を展示するスペース確保を図る。
越谷には、歴史資料館、博物館がない為、特産の展示など、ぜひ公共スペースに展示して頂きたい。（*3）	
市民の憩いの場を。温泉が出れば憩いの場となり、災害時にも活用できる。	市民協働ゾーンは、市民の憩いの場、集いの場としての多様な活用方策を検討するとともに、市民が使いやすいシステムや機能配置を図る。
市民が、気軽に集まり活動できるように、長机や、丸机などを置き、ボードなども取り入れる。	
体操教室（健康コーナー）的な運動スペースをつくる。	
稼働率を、ほぼ365日としたい。そのための企画が必要。	
庁舎は、土日も開放してほしい。	
市民協働ゾーンは、土日祝日の開放。Open 9：00～18：00（*3）	
市民が市民のために役に立ちたいと思う人の、市民のコンシェルジュデスクの配置。	
幼児をお持ちの両親に対して、幼児待機場所ルームを造ってほしい。	
ボランティアの募集で、希望がさりげなく出来る場に。	
平坦な土地柄、サイクルロードを充実化と共に、自転車利用者の休憩所等の対応を望む。（*3）	

テーマ4：防災・環境	意見のポイント
庁舎全体に、空調及び冷暖などにエコをテーマとして取り入れるべき。	<p>新庁舎整備にあたっては、空調システムの工夫、CO2削減、太陽光利用、省エネ設備の積極的採用など、効果的なエネルギーマネジメントを行い、環境にやさしい庁舎を目指す。</p>
川風を利用した空調。川は涼風を呼ぶシステム。この川風を庁舎に取り込むよう、設計に折り込む。風の出入り口を温度に合わせてコンピュータでコントロールする。	
コミュニティ・エネルギーマネジメントについて、庁舎敷地内の全てのエネルギーを把握し、需給調整を行うことでエネルギーの効率化及びコストダウン、CO2削減を行う。	
環境負荷の低減。	
CO2削減目標の設定。庁舎の業務部門は、40%削減。それを目標にエネルギーマネジメントを行う。	
建物の環境負荷エネルギー目標を2050年にCO2マイナス80%とする(*1)	
環境負荷低減目標は、CASBEEに加えZEBを目標とする(*1)	
環境に配慮したZEB（ゼロエネルギービルディング）化を目指す(*2)	
自然採光の幅の広い具体的提案(*1)	
窓ガラス内オートマチックブラインドの設置(*1)	
デシカント湿度調整を行う(*1)	
人感センサーによる光制御(*1)	
タスクアンビエントの積極的活用(*1)	
西日遮蔽&自然回復用高木樹の植栽(*1)	
日射遮蔽断熱性能の高いペイントの活用(*1)	
太陽光発電モジュール付き日射遮蔽の設置(*1)	
ヘリポートを含め屋上は太陽光発電または太陽熱集熱のパネルを設置し活用する(*1)	
将来のEV化に備えたPV付駐車場屋根の設置(*1)	
太陽熱利用暖冷房(*1)	
天然ガスコジェネレ、地中熱ヒートポンプ、太陽熱利用システムの統合的熱供給システムとする(*1)	
ガスコジェネレーション設備を常用兼非常用のベース電源とする(*1)	
省エネトイレの設置(*1)	
EVを含めた蓄電システムをエネマネに活用(*1)	
CEMSの活用による低炭素化、低コスト化(*1)	
埼玉県産材によるCRTを活用し、低炭素化及び炭酸ガス固定を進める(*1)	
一般市民のための備蓄食料、倉庫を地下へ。	<p>庁舎は防災拠点としての役割を担っていることから、十分な備蓄機能や情報発信機能の配置、屋上ヘリポート等の確保、外国人への配慮など防災拠点としての機能充実を図る。</p>
備蓄について、何をどのように確保するか明確にする。燃料の備蓄は、最初に決めておく必要がある。	
防災拠点を、市民に分かりやすく。	
庁舎について、市民の避難者や帰宅困難者にとって、リアルな情報が得られる場にしたい。	
外国人のために、防災に関しては、やさしい日本語でわかるように表記を。	
防災のため、屋上にヘリポートを作してほしい。	<p>受動喫煙防止に配慮する。</p>
災害時のために、対策本部機能（本部室）、ヘリポート、仮眠室、シャワー等は確保するのか？	
喫煙室は必要ない。必要ならば外部に。室内には煙が入らないようにする。(*2)	<p>緑環境の充実、有効な土地利用を図る。</p>
環境について、緑や庭がある公園的空間を。	
ロケーションを見ると、現在の土地があるので、やはり工夫して設置できないか。	

テーマ5：その他（市民ができること等）	意見のポイント
グループで、定期的に花等の手入れをする。	市民グループ等との協働で花壇等の管理を行う。
当然、バリアフリー構造にしてほしい。	子育て世代への配慮、バリアフリー化、国際化への対応が重要である。
将来的に、子育て世代、バリアフリー、そして国際化への対応は最も重要である。（*3）	「FMこしがや」のスタジオの設置を図る。
FMこしがやのスタジオ設置を。	設計等計画内容の情報発信を望む。
分かりやすい計画を発信してほしい。	補助金や交付金を効果的に活用し整備コストの抑制を図る。
補助金、交付金の最大限の利用について、現在ある補助金等を調べ、ちょっと手を加えれば採用できるもの、そのまま有効利用できるものをしっかり調査・活用し、コストダウンしてほしい。	女性職員の参画を図りながら、市職員の意見についても反映した働きやすい新庁舎の整備を望む。
現職員の声を聞き、活かしたい。職員が仕事をしやすいような職場として、どんな意見が出ているかをぜひ聞きたい。	今回の事務職員の席に、ぜひ女性職員も入れよう。全員男性ばかりで、驚きました。ぜひ、女性職員にも活躍してほしい。
今回の事務職員の席に、ぜひ女性職員も入れよう。全員男性ばかりで、驚きました。ぜひ、女性職員にも活躍してほしい。	葛西用水へのアクセス強化を図る。
水辺について、葛西用水への陸橋化や地下道化を。	新庁舎整備にあたっては、ライフサイクルコストを一貫して追求する（*1）
ライフサイクルコストを一貫して追求する（*1）	庁舎上部を活用した宿泊施設の誘致を検討する。
優良宿泊施設を併設する。庁舎上部を宿泊棟とする。（*2）	

Bグループ

テーマ1：建築デザイン等に反映すべき越谷らしさ	意見のポイント
建物の中に、越谷の木を植える。自然が多いイメージがあれば、市民も利用しやすくなると思う。	建築デザイン検討にあたっては、水（川、水郷）・緑・太陽のイメージを大切に、葛西用水と一体感のある、かつ開放感のある庁舎の整備を図る。
庁舎・建築物について、緑の多い空間に。	
協働ゾーンの建物デザインについて。越谷は、水と緑と自然溢れる都市だと思うので、自然採光、水、緑の配置によって、明るく開放的で自然あふれるスペースにしてほしいと思う。	
水と緑と太陽のまち越谷として、水と緑を意識し、隣接する川とウッドデッキを一体化した市役所に。	
ウッドデッキと市役所の間道路があり寸断されてしまうため、この道路をなんとかしたい。	
窓について、採光のためのガラス窓（強化ガラスも含めて）は？壁が必要と思う。	
市民が入りやすいエントランスづくりを。	
駅前に出来た「ガーヤちゃんの蔵屋敷」と、越谷宿を意識した和のデザインに。	越谷宿、しらこぼと、格子など越谷の伝統・文化、和のデザインを取り入れ、越谷らしい建築デザインを目指す。
庁舎について、しらこぼとをモチーフにしたデザインに。	
イメージづくりのための資料にある格子は、8F、7Fの上階には不必要。	
本庁舎の色について、本庁舎、第二、第三共に、出来上がりの色を統一する。	越谷らしい色彩を統一的に採用するなど、景観的な配慮を図る。
壁の色を、水郷らしい水色などに。	
水と緑のまちにふさわしい外観、色使いにしてほしい。	
市民が集まり易い、行き易い雰囲気を作って欲しい。	飲食、喫茶など、市民が集い憩えるスペースを確保する。
市民の喫茶スペースがほしい。	
市民が集えるホールについて、収容人数300名位のコミセン「ポルティコ」以上の、500名ぐらいで会食できるスペースがほしい。	
建物をまとめる。第二、第三を取り壊して本庁舎にまとめ、8階建てでなくもっと高くする。倍の15階建てでもよい。	建物の集約化や駐車場の有効活用など効率的な敷地利用を検討する。
イベント広場等にも有効に使える、駐車スペースの配慮を。	
市民協働ゾーンについて、新庁舎は越谷市の顔となる建物。防災対策で越谷らしさを出すには、35万円/㎡ではいかなものか。アップで45万円/㎡としてはどうか。	コスト面でも越谷の顔にふさわしい庁舎整備を検討する。

- (*) 第1回ワークショップ開催後に頂いた個別意見
 (*) 第2回ワークショップで頂いた追加意見
 (*) 第2回欠席者から頂いた個別意見
- } ※以下同様

テーマ2：市民の利便性	意見のポイント
駐車のスペースを、もっと多くしたい。	使いやすい駐車場・駐輪場の確保とスペースとしての有効活用を検討する。
駐車場を平面だけでなく、2～3階建てに。駐輪場のスペースを多くする。	
駐車場の敷地は、フラットにして、中央市民会館の広場と一体になるように。市民祭、市内一周駅伝の開・閉会式の会場。約4千人～6千人が集える空間に。	
市民への駐車場の開放を。	
待たなくてすむ、駐車場のスペースを。	総合窓口の設置、コンシェルジュの配置、予約システムの機能向上、開庁時間の延長など、市民がより使いやすい新庁舎の整備を図る。
窓口の呼び出し番号案内モニターを、複数の休憩場所に設置する。	
市民の待ち時間の解消を。	
市民のために、予約はWEB，SNSの活用を。	
窓口が、現状は様々なフロアにまたがっているため、行き来が面倒なのでワンフロアにしてほしい。	
特に市民協働ゾーンは、土日も開放して欲しい。	新庁舎整備に合わせた安全で機能的な交通環境の確保を検討する。
利用者を待たせない機能的な配置、設備、休憩所の設置を。	
市役所を中心とした「足立区はるかぜ号12路線」のような、バス路線の充実を図る。	子育て支援機能の配置を図る。
交通の便について、前の道が車通りが多くて行きにくいと感じる。	
市民が、気軽に訪問するために保育士がいる保育室がほしい。	市民や来庁者が使いやすい機能配置を図る。
待ち時間などに、子どもが遊べる場所を。	
市民のために、市の特産品の展示販売、軽食のとれる場所を。	
市民のために、バリアフリーに。	
ATMコーナーを設置。	
市民活動支援課を自治会・市民活動の拠点と考え、このスペースを広くし、出入りを自由にできるようにしたい。	適切な庁舎ボリュームを検討する。
庁舎数を多くするより、2本を1本に集中した本体を。	

テーマ3：市民協働ゾーン	意見のポイント
朝市のような、農産物を販売するイベントがあるといいと思う。	市民協働ゾーンには、飲食や物販スペース等を配置し、市民の憩いの場として機能させる。
フードコートスペースを。	
2階にフードコートなどの食堂を。	
特産物を生かしたレストランや、フードコートのようなものがあるといい。	
市役所に用事が無くても、待ち合わせ、打合せ等できるようなレストランや喫茶室を作り、憩いの場とする。	
市民に、越谷の名産品を出すレストランなどを。	
フリーマーケットができるスペースを。	
1階にコンビニを。	市民協働ゾーンは、市民活動の場・発信の場としての多様に活用できるよう、採光や防音にも配慮しながら、会議室やホール等の配置を検討する。
市民活動団体のために、団体の所有物を有料で収納できる場所の確保を。	
市民が自由に使い、小会議等ができるスペースを。	
市民の展示が可能なスペースがほしい。	
市民、市民活動団体のために、自由に会議やミーティングが可能なスペースがほしい。	
市民協働ゾーンに、和室会議室を作って頂きたい。	
市民のために、防音設備のあるスペースがほしい。	
市民・市民団体のために、音楽・コンサートが開催できる防音設備のあるスペースがほしい。	
市民協働ゾーンは、若い人も入りやすいように、光がたくさんはいるような明るいつくり。	
越谷の特長がわかりやすく説明できるコーナーや、特産物コーナーを。	
1階に総合案内所を。	市民協働ゾーンには、子どもが遊べるようなキッズスペースを確保する。
協働ゾーンについて、越谷は住宅街であり、子どもの多い街であるので、子どもの遊べるスペースがあるといい。	
駐車スペースも含め、雨天でも使用しやすいように。	駐車場も含め雨天でも使いやすいよう配慮する。
屋上を利用して頂きたい。	市民協働ゾーンの屋上利用を検討する。
市民のために、バリアフリーに。	多様な市民が利用する市民協働ゾーンは、バリアフリー化を図る。
	市民協働ゾーン1階には、観覧席として利用できる、ウッドデッキと一体となる階段状スペースの確保を図る。
ウッドデッキのイベント開催時に一体となる空間。入口を階段式で観覧席として使用する。	
市民協働ゾーンは、どのような施設をつくれるのか知りたい。	

テーマ4：防災・環境	意見のポイント
地震対策として免震構造を。	庁舎は防災拠点としての役割を担うことから、免震構造の採用、十分な備蓄機能や情報発信機能の配置、屋上ヘリポート等の確保など防災拠点としての機能充実を図る。
災害時に、本庁舎に宿泊できたら良い。	
災害にも対応できる指令本部や、避難所としての機能を。	
川と道路に囲まれて、災害時の集客保護は可能なのか。	
ライフラインが全て遮断された場合に、行政機能を確保できる設備を設ける。自家発電、水ろ過装置、下水貯留槽など。	
せっかく出来たFMこしがやを協働ゾーンに設置し、いざ災害時に発信できるようにしたい。	
地域FMの利点である、いち早い情報提供のため、FMこしがやの設置を。	
災害時のための、非常食の備蓄を。	
ヘリポートの設置を。	
ソーラーパネル等を利用した、環境を十分に生かした設備を。	
本庁舎屋上に、富士山が見えるスペースを設けていただきたい。	本庁舎の屋上には眺望を活かしたスペースの有効活用を図る。
市民協働ゾーンにみでなく、本庁舎の屋上も有効に利用したい。(*2)	

テーマ5：その他（市民ができること等）	意見のポイント
現在ある越谷駅前の越谷市民活動支援センターについてはどうなのか、計画はあるのか？	既存の越谷市民活動支援センターとの連携・役割分担等が求められる。
議会館について、他市町村から見学に来るような、特色を持たせた全ての市民に開かれた議場づくり。	特色があり市民に開かれた議会館の整備が望まれる。
市庁舎前の信号について。建物よりも市役所前の交差点の信号を、車がスムーズに通れるように。朝晩は右左折が難しいので。	新庁舎整備に伴う周辺の交通環境の安全性確保を望む。

②（仮称）市民協働ゾーンに対して大切にしたいと思う項目の抽出

第1回ワークショップで出された全ての意見を対象に、各グループ一人10票をもって、投票形式で大切にしたいと思う項目の抽出を行いました。

投票集計結果は以下に示す通りです。

Aグループ

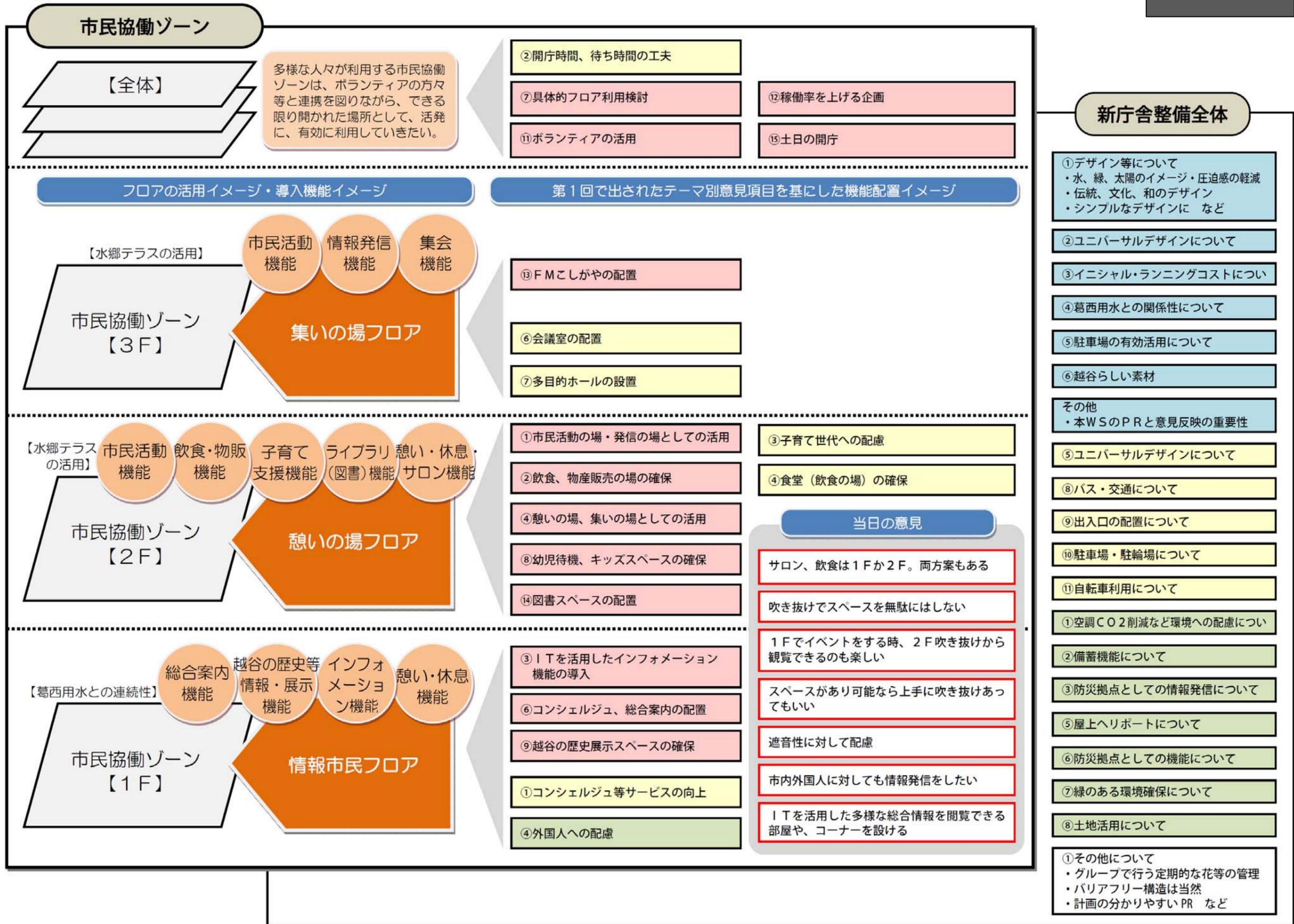
順位	項目	得票数	割合
1	⑩-1 外国人に対する配慮が必要。(※当日追加意見)	11	8.3%
2	⑧-1 幼児をお持ちの両親に対して、幼児待機場所ルームを造ってほしい。	9	6.8%
3	⑮-1 庁舎は、土日も開放してほしい。	8	6.0%
3	⑨-1 市民が親しむ空間に。市民がより越谷を理解し愛する場として、越谷の歴史、生活の移り変わり展示等により親しむゾーンを造れないか。	8	6.0%
3	⑥-1 市民が市民のために役に立ちたいと思う人の、市民のコンシェルジュデスクの配置。	8	6.0%
3	①-4 市民の様々な活動について、創作活動や地域活動の発表の場として、活用したい。	8	6.0%
3	①-3 市民活動が一目でわかるような場の設置を。	8	6.0%
8	⑰-1 Wi-Fi環境を整える。(※当日追加意見)	7	5.3%
8	③-1 ITを駆使した越谷インフォメーション画面を備えた1室を設けてほしい。例えば、警察や消防が用いるコントロールスクリーンのように、地図を見てそのボタンをクリックすると、その公共施設での予定行事が見られるなど。	7	5.3%
8	①-2 団体の活動を発信したい。	7	5.3%
11	②-1 市民、市民活動団体のために、飲食設備、調理、販売が可能なスペースの設置。時間により子ども食堂や、サロンができるものを。	6	4.5%
12	⑭-1 人が集まるので、図書館を協働スペースに移動する。	5	3.8%
12	⑩-1 体操教室(健康コーナー)的な運動スペースをつくる。	5	3.8%
12	④-2 市民が、気軽に集まり活動できるように、長机や、丸机などを置き、ボードなども取り入れる。	5	3.8%
12	②-3 市民の運営する喫茶室の設置。	5	3.8%
16	⑬-1 FMこしがやを入れてください。	4	3.0%
16	⑫-1 稼働率を、ほぼ365日としたい。そのための企画が必要。	4	3.0%
16	⑪-1 ボランティアの募集で、希望がさりげなく出来る場に。	4	3.0%
16	⑤-1 市民協働ゾーンは、市民が使える面積をできるだけ多く希望します。	4	3.0%
20	②-2 出店について、地元商店やブース出店を。	3	2.3%
21	②-4 市民の憩いの場を。図書室・囲碁・将棋スペース、イートイン併設の気軽に入れるコーヒーショップなど。100円コーヒーやスイーツがあるとよい。	2	1.5%
21	①-1 市民活動をする人、起業する人のために、パソコンで何でも検索できる部屋を間仕切りでほしい。起業する人のための貸しスペースにもなる。	2	1.5%
23	⑦-1 市民協働ゾーンには、1F フリースペース、2F オープンスペース、3F 防音スペーススタジオ(シアター、劇場)にしてほしい。	1	0.8%
23	④-1 市民の憩いの場を。温泉が出れば憩いの場となり、災害時にも活用できる。	1	0.8%
23	③-2 通路に展示するボードは、ITを駆使したスクリーンとする。行事ごとに変える必要が無い。	1	0.8%
合 計		133	100.0%

Bグループ

順位	項目	得票数	割合
1	②-5 市役所に用事が無くても、待ち合わせ、打合せ等できるようなレストランや喫茶室を作り、憩いの場とする。	8	8.5%
1	⑱-1 市民のために、バリアフリーに。	8	8.5%
3	③-1 越谷の特長がわかりやすく説明できるコーナーや、特産物コーナーを。	7	7.4%
3	⑥-1 1階に総合案内所を。	7	7.4%
5	②-6 市民に、越谷の名産品を出すレストランなどを。	6	6.4%
5	⑧-1 協働ゾーンについて、越谷は住宅街であり、子どもの多い街であるので、子どもの遊べるスペースがあるといい。	6	6.4%
5	⑰-1 駐車スペースも含め、雨天でも使用しやすいように。	6	6.4%
8	①-4 市民、市民活動団体のために、自由に会議やミーティングが可能なスペースがほしい。	5	5.3%
9	①-3 市民の展示が可能なスペースがほしい。	4	4.3%
9	⑤-2 市民協働ゾーンは、若い人も入りやすいように、光がたくさんはいるような明るいつくり。	4	4.3%
9	⑱-1 屋上を利用して頂きたい。	4	4.3%
9	⑳-1 ウッドデッキのイベント開催時に一体となる空間。入口を階段式で観覧席として使用する。	4	4.3%
13	①-2 市民が自由に使え、小会議等ができるスペースを。	3	3.2%
13	②-1 朝市のような、農産物を販売するイベントがあるといいと思う。	3	3.2%
13	②-3 2階にフードコートなどの食堂を。	3	3.2%
13	④-1 フリーマーケットができるスペースを。	3	3.2%
13	⑤-3 市民・市民団体のために、音楽・コンサートが開催できる防音設備のあるスペースがほしい。	3	3.2%
13	⑱-1 1階にコンビニを。	3	3.2%
19	②-4 特産物を生かしたレストランや、フードコートのようなものがあるといい。	2	2.1%
19	⑤-1 市民のために、防音設備のあるスペースがほしい。	2	2.1%
19	㉑-1 市民協働ゾーンは、どのような施設をつくれるのか知りたい。	2	2.1%
22	①-5 市民協働ゾーンに、和室会議室を作って頂きたい。	1	1.1%
23	①-1 市民活動団体のために、団体の所有物を有料で収納できる場所の確保	0	0.0%
23	②-2 フードコートスペースを。	0	0.0%
合 計		94	100.0%

③市民協働ゾーンの機能の検討について【ワークショップでの意見整理とゾーニング案】

Aグループ

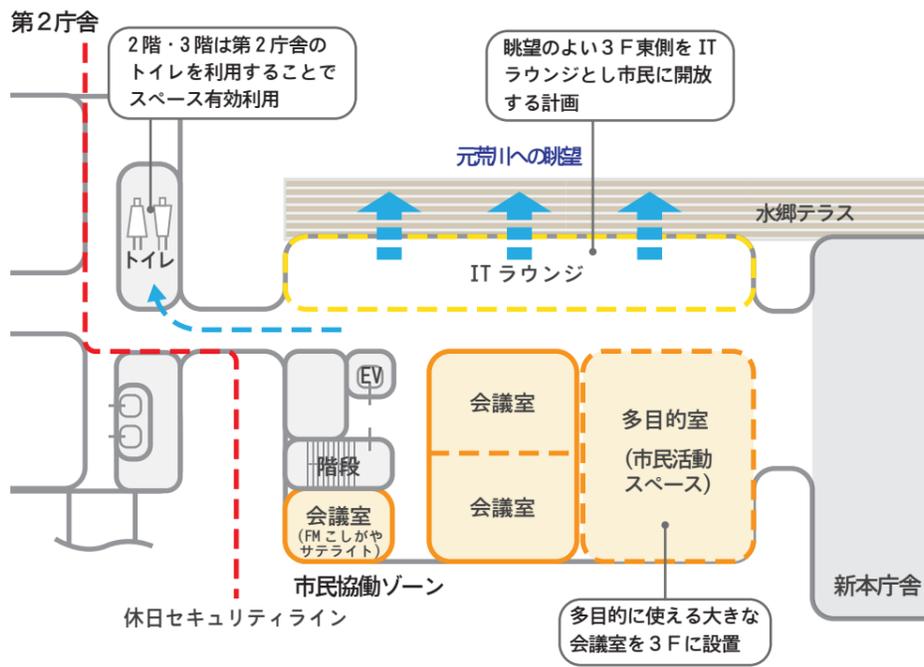


■ゾーニング案に関連する意見(追加意見等を含む)

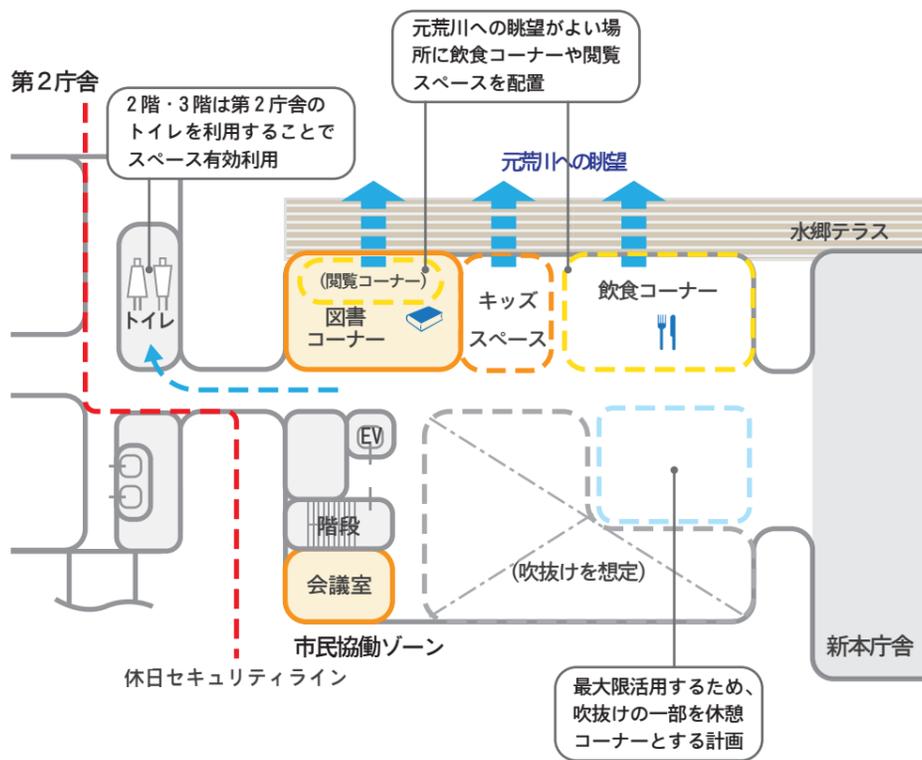
部屋名称	得票数	項目	個別意見	個別得票数
市民活動スペース 多目的室 多目的ホール	28	①-4	市民の様々な活動について、創作活動や地域活動の発表の場として、活用したい。	8
		①-2	団体の活動を発信したい。	7
		②-1	市民、市民活動団体のために、飲食設備、調理、販売が可能なスペースの設置。時間により子ども食堂や、サロンができるものを。	6
		⑩-1	体操教室(健康コーナー)的な運動スペースをつくる。	5
		①-1	市民活動をする人、起業する人のために、パソコンでも検索できる部屋を間仕切りでほしい。起業する人のための貸しスペースにもなる。	2
展示スペース	16	⑨-1	市民が親しむ空間に。市民がより越谷を理解し愛する場として、越谷の歴史、生活の移り変わり展示等により親しむゾーンを造れないか。	8
		①-3	市民活動が一目でわかるような場の設置を。	8
		追加意見	越谷には、歴史資料館、博物館がない為、特産の展示など、ぜひ公共スペースに展示して頂きたい。(※3)	—
ITラウンジ	15	⑰-1	Wi-Fi環境を整える。(※当日追加意見)	7
		追加意見	Wi-Fi等ネット環境の確保。(※2)	—
		③-1	ITを駆使した越谷インフォメーション画面を備えた1室を設けてほしい。例えば、警察や消防が用いるコントロールスクリーンのように、地図を見てそのボタンをクリックすると、その公共施設での予定行事が見られるなど。	7
		③-2	通路に展示するボードは、ITを駆使したスクリーンとする。行事ごとに変える必要が無い。	1
キッズスペース	9	⑧-1	幼児をお持ちの両親に対して、幼児待機場所ルームを造ってほしい。	9
会議室	9	④-2	市民が、気軽に集まり活動できるように、長机や、丸机などを置き、ボードなども取り入れる。	5
		⑬-1	FMこしがやを入れてください。	4
総合案内	8	⑥-1	市民が市民のために役に立ちたいと思う人の、市民のコンシェルジュデスクの配置。	8
飲食コーナー	7	②-3	市民の運営する喫茶室の設置。	5
		②-4	市民の憩いの場を。図書室・囲碁・将棋スペース、イートイン併設の気軽に入れるコーヒーショップなど。100円コーヒーやスイーツがあるとよい。	2
図書コーナー	5	⑭-1	人が集まるので、図書館を協働スペースに移動する。	5
休憩コーナー	4	⑤-1	市民協働ゾーンは、市民が使える面積をできるだけ多く希望します。	4
物産販売コーナー (コンビニ)	3	②-2	出店について、地元商店やブース出店を。	3
その他	1	④-1	市民の憩いの場を。温泉が出れば憩いの場となり、災害時にも活用できる。	1

■ゾーニング案に関連せず、市民協働ゾーン全体に対する意見

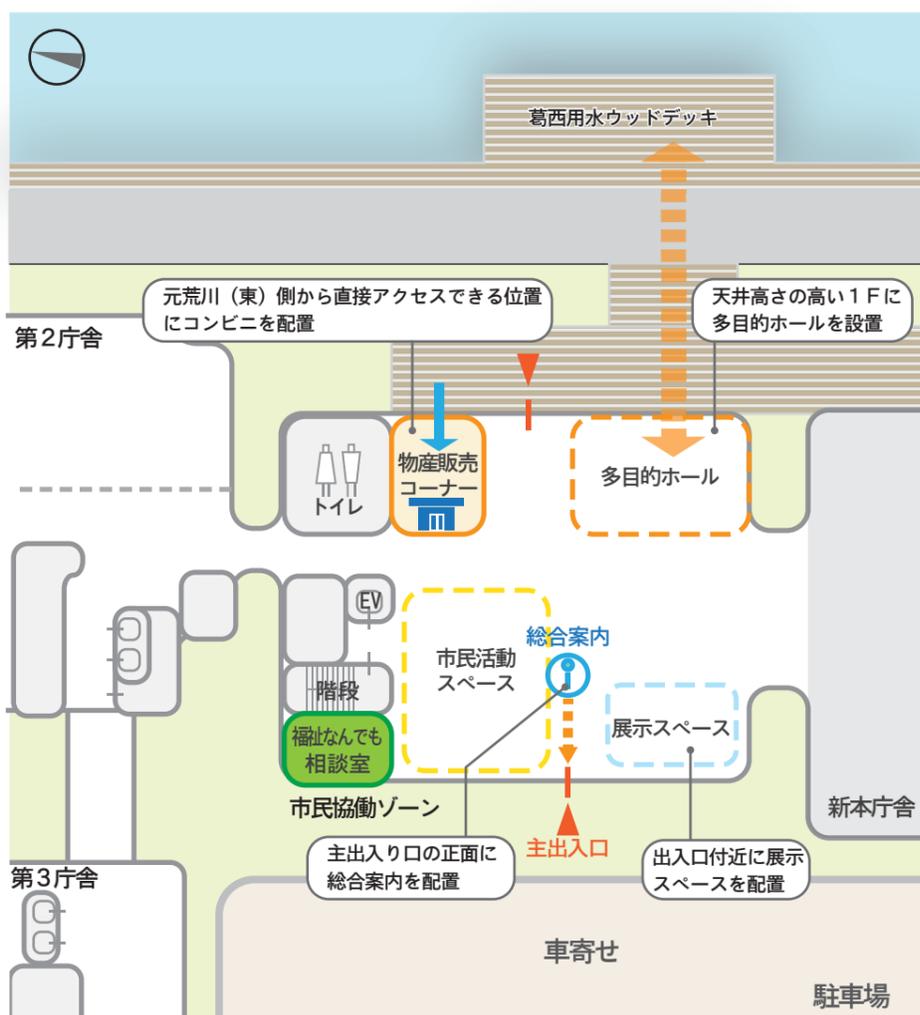
	⑩-1	外国人に対する配慮が必要。(※当日追加意見)	11
	⑨-1	庁舎は、土日も開放してほしい。	8
	⑫-1	稼働率を、ほぼ365日としたい。そのための企画が必要。	4
	追加意見	市民協働ゾーンは、土日祝日の開放。 Open9:00~18:00(*3)	—
	⑪-1	ボランティアの募集で、希望がさりげなく出来る場に。	4
	⑦-1	市民協働ゾーンには、1F フリースペース、2F オープンスペース、3F 防音スペーススタジオ(シアター、劇場)にしてほしい。	1
	追加意見	中央市民会館とダブらない内容にする。会議室、展示室、ホールはいらぬ。(*3)	—
	追加意見	平坦な土地柄、サイクルロードを充実化と共に、自転車利用者の休憩所等の対応を望む。(*3)	—



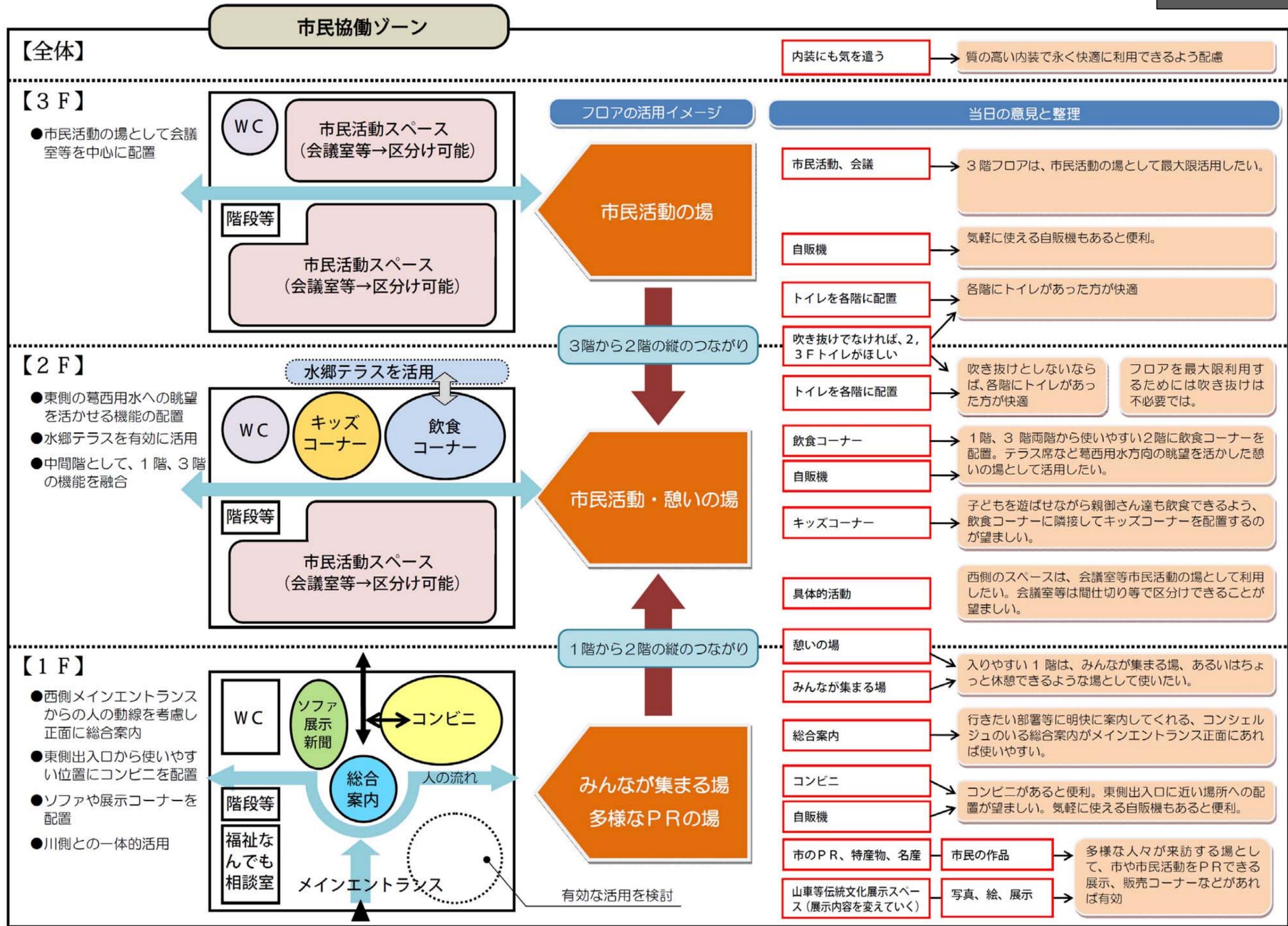
3階 平面図



2階 平面図



1階 平面図

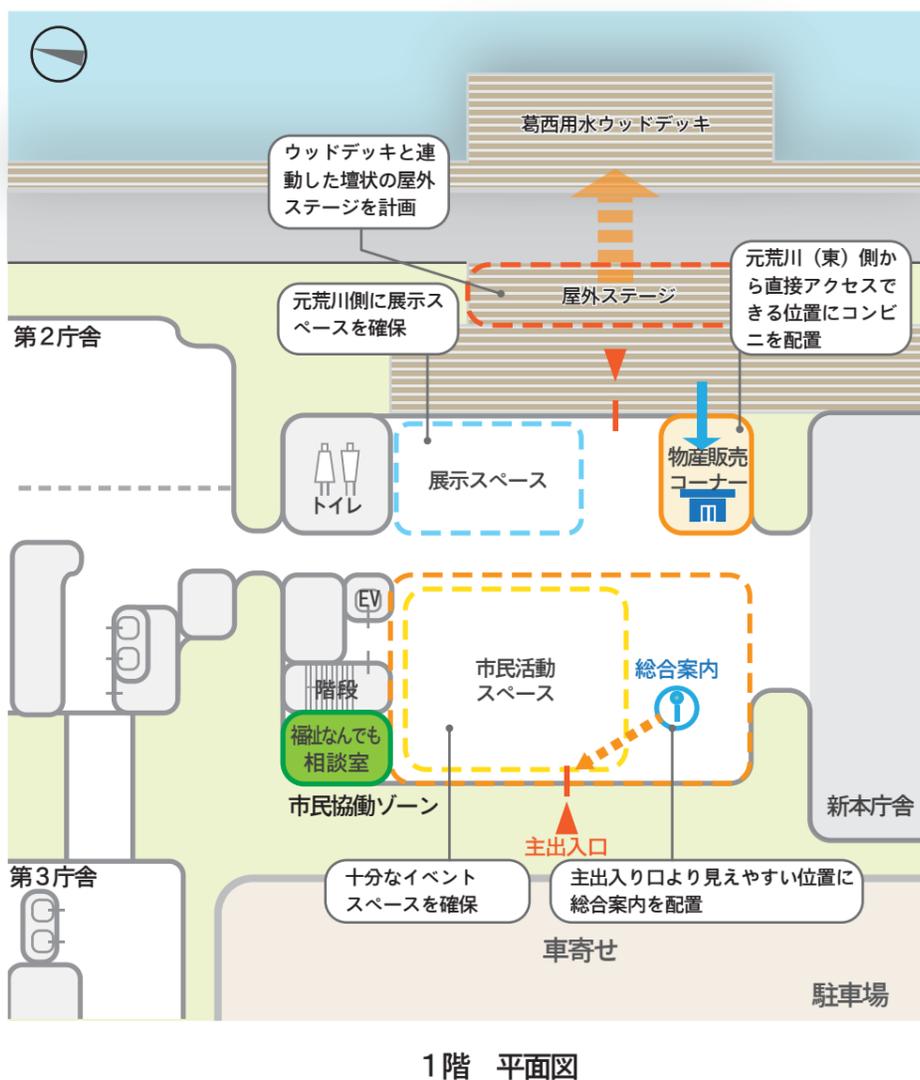
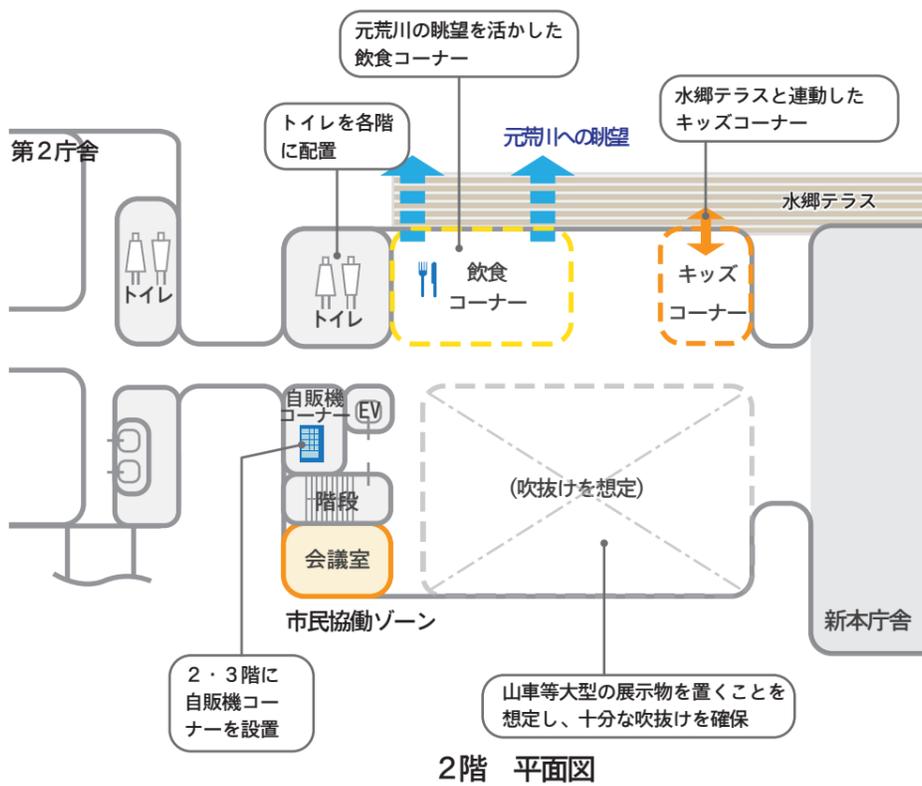
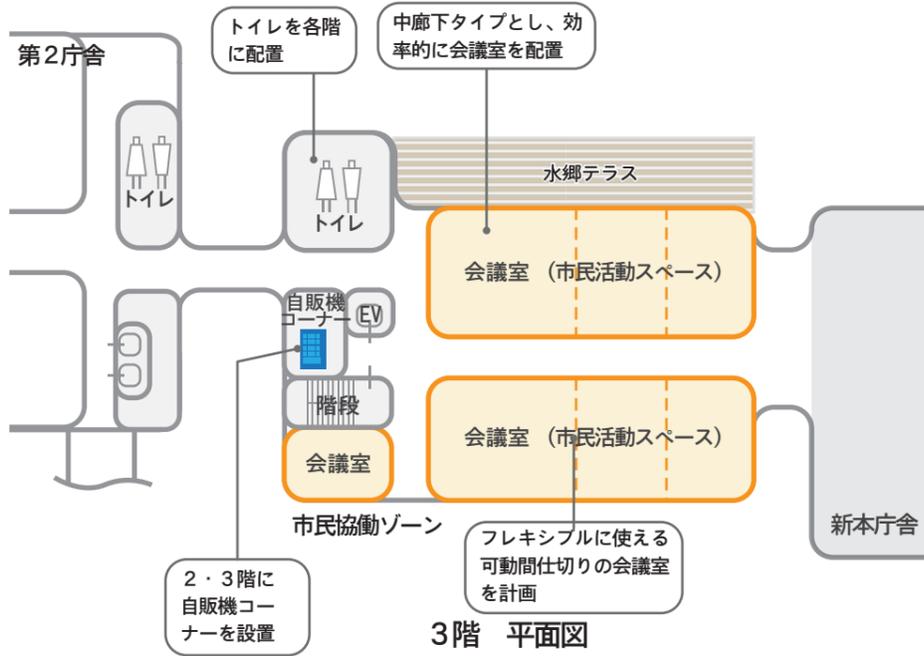


■ゾーニング案に関連する意見

部屋名称	得票数	項目	個別意見	個別得票数
飲食コーナー	19	②-5	市役所に用事が無くても、待ち合わせ、打合せ等できるようなレストランや喫茶室を作り、憩いの場とする。	8
		②-6	市民に、越谷の名産品を出すレストランなどを。	6
		②-3	2階にフードコートなどの食堂を。	3
		②-4	特産物を生かしたレストランや、フードコートのようなものがあるといい。	2
		②-2	フードコートスペースを。	0
物産販売コーナー (コンビニ)	16	③-1	越谷の特長がわかりやすく説明できるコーナーや、特産物コーナーを。	7
		②-1	朝市のような、農産物を販売するイベントがあると思う。	3
		④-1	フリーマーケットができるスペースを。	3
		⑩-1	1階にコンビニを。	3
会議室	9	①-4	市民、市民活動団体のために、自由に会議やミーティングが可能なスペースがほしい。	5
		①-2	市民が自由に使え、小会議等ができるスペースを。	3
		①-5	市民協働ゾーンに、和室会議室を作って頂きたい。	1
総合案内	7	⑥-1	1階に総合案内所を。	7
キッズスペース	6	⑧-1	協働ゾーンについて、越谷は住宅街であり、子どもの多い街であるので、子どもの遊べるスペースがあるといい。	6
市民活動スペース	5	⑤-3	市民・市民団体のために、音楽・コンサートが開催できる防音設備のあるスペースがほしい。	3
		⑤-1	市民のために、防音設備のあるスペースがほしい。	2
展示スペース	4	①-3	市民の展示が可能なスペースがほしい。	4
屋外ステージ	4	⑳-1	ウッドデッキのイベント開催時に一体となる空間。入口を階段式で観覧席として使用する。	4
その他	4	⑱-1	屋上を利用して頂きたい。	4

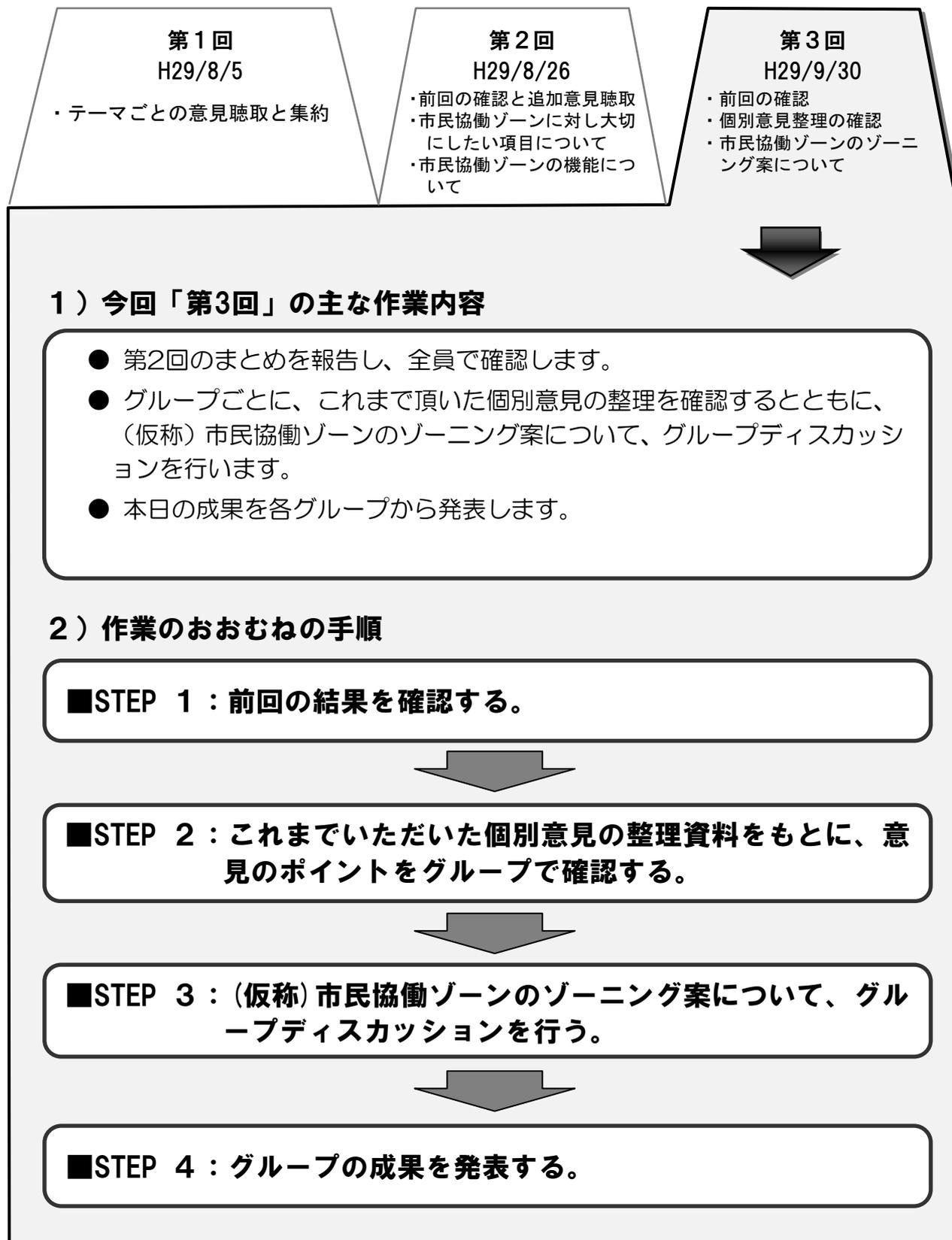
■ゾーニング案に関連せず、市民協働ゾーン全体に対する意見

	⑱-1	市民のために、バリアフリーに。	8
	⑰-1	駐車スペースも含め、雨天でも使用しやすいように。	6
	⑤-2	市民協働ゾーンは、若い人も入りやすいように、光がたくさんはいるような明るいづくりに。	4
	㉑-1	市民協働ゾーンは、どのような施設をつくれるのか知りたい。	2
	①-1	市民活動団体のために、団体の所有物を有料で収納できる場所の確保	0



2. 第3回ワークショップについて

(1) 主な内容と手順



※具体的な作業イメージは次頁に示します。

(2) ワークショップの具体的手順

■STEP 1：前回の結果を確認する。

- 前回のまとめを基に、前回の結果概要等を全体で確認します。



■STEP 2：これまでいただいた個別意見の整理資料をもとに、意見のポイントをグループで確認する。

- これまでみなさんからいただいた個別意見を整理し示した「意見のポイント」について、グループごとにディスカッションを行い、必要に応じ修正します。



■STEP 3：(仮称)市民協働ゾーンのゾーニング案について、グループディスカッションを行う。

- みなさんのご意見・ご提案を踏まえ検討された(仮称)市民協働ゾーンのゾーニング案に対し、グループごとにディスカッションを行い、具合的な使い方等をイメージしながら、ゾーニング案に対する意見等をまとめます。



■STEP 4：グループの成果を発表する。

- 本日の結果を、各グループの発表者から発表してもらいます。
- 発表者は、前回までの発表者以外の人から選出するようお願いします。